

くすのき

令和7年度 山ノ内小学校 学校教育目標



「すすんで、ともに学ぶことを楽しむ子ども」

～主体性と社会性を高める～



秋の深まりを感じる今日この頃となりました。平素は山ノ内小学校の教育推進にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。さて、秋と言えば「読書の秋」、「スポーツの秋」、「食欲の秋」に「芸術の秋」などと言われるようにいろいろなことを楽しむことができる季節です。教科書等で出てくる教材や題材でも、秋に合わせて作られているものも数多くあります。季節感も味わいながら、学習を進めていきたいと思います。1年も折り返しを過ぎました。これまでの成長を振り返りながら、3月まで安心・安全な学校生活が送れるよう児童を支え、指導していきます。

～学校からのお知らせ～

研修や行事に関わる校時について

- ① 11月11日は、令和8年度入学予定児童を対象とした就学時健康診断があります。そのため、児童は給食・掃除終了後、13時25分頃から完全下校をします。
- ② 12月8日、9日は4時間授業、給食掃除終了後、13：25ごろから完全下校をします。9日の放課後まなび教室は実施します。
- ③ 12月16日から月19日は希望制個人懇談会を行います。特別校時になりますので、児童は14：05ごろから完全下校します。

山ノ内小学校創立90周年写真撮影

11月18日3校時に山ノ内小学校創立90周年を記念しての写真撮影を行います。地域の皆様、保護者の皆様もご都合がよろしければ、是非撮影にご参加ください。

10時30分～45分を目途に学校へお越しください。

学校の様子は山ノ内小学校のホームページからご覧いただけます。

URL <https://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=112109>



11月の予定

日	曜	行事	部活	P T A関係等
1	土			P T A文化委員栽培活動
2	日			
3	月	文化の日		
4	火	ALT 来校	バスケ・和太鼓・タグラグビー	P T A本部定例会
5	水	スクールカウンセラー来校 校外学習（1・2年生）	歯科検診（4・5・6年）	
6	木		フッ化物洗口	
7	金	食の指導（1－2） 校外学習（5年生）		
8	土			
9	日			山ノ内学区自主防災会
10	月	なかよしの日 銀行振替日 クラブ活動		
11	火	就学時健康診断 4時間授業・給食終了後完全下校		
12	水	Smile 遊び スクールカウンセラー来校		
13	木		フッ化物洗口	
14	金	食の指導（2－1） 避難訓練（不審者対応）		
15	土			
16	日			市民スポーツフェスティバル お茶会（笑友の会）
17	月	読書週間		
18	火	創立90周年写真撮影（3校時）	バスケ・和太鼓・タグラグビー	
19	水	校外学習（4年生） スクールカウンセラー来校	検尿	
20	木	ALT 来校 授業研修会（ひまわり学級2・3組） 4時間授業・給食掃除終了後完全下校	フッ化物洗口 検尿予備日	
21	金	支部育成学級合同交流会 食の指導（2－2）ALT 来校		
22	土			PTA 校内清掃
23	日	勤労感謝の日		
24	月	振替休日		
25	火	ALT 来校	バスケ②	
26	水	スクールカウンセラー来校		
27	木		フッ化物洗口	
28	金	学習発表会 スキルアップデー		
29	土			
30	日			ブロック対抗シッティングバレーボール大会

12月の主な行事（予定）

- 1日 全校道徳 委員会活動
- 5日 四条中学校オープンスクール・入学説明会（6年）
校外学習（4年生）
- 8・9日 4時間授業・給食終了後完全下校
- 12日 2学期放課後まなび教室終了

16日～19日 希望制個人懇談会・特別校時

- 22日 クラブ活動
- 24日 2学期終業式 給食終了
- 25日 冬季休業開始
- ※3学期は1月7日から始まります。7日と8日は4時間授業・給食掃除終了後完全下校をします。

全国学力・学習状況調査の結果について

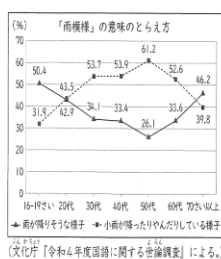
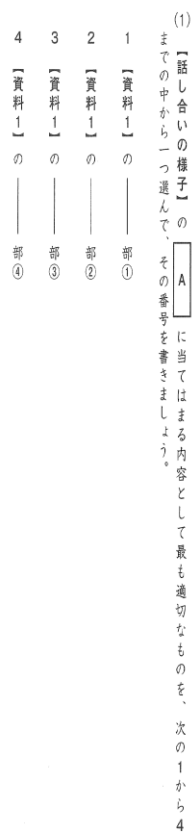
4月17日に6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、文部科学省より結果が公表されました。京都府は国語科、算数科、理科共に全国平均を上回る結果でした。本調査は、国語、算数、理科の3教科の調査と同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されています。学力調査の結果や生活習慣など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

<国語科について>

「【話し合いの様子】の田中さんの発言の空欄 A に当てはまる内容として適切なものを選択する」問題の正答率が低くなっていました。この問題は「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる」目的で出題されています。

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けるためには、文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりすることが重要です。必要な情報は、目的に応じて変わるため、読む目的を明確にすることが大切です。ここでは、田中さんが【資料4】を読み、「人によって言葉の意味のとらえ方がちがうと、伝え合うときに困る」と考えています。田中さんが、【資料4】に書かれていることと【資料1】に「コミュニケーションの食い違いを放置しておくわけにもいきません。」と書かれていることも結び付けていると捉えなければなりません。

誤答が多かった選択肢2は、田中さんが、【資料4】に書かれていることと【資料1】に「『本来の意味』『本来とは違う使い方』といった言い方にとどめています。」と書かれていることを結び付けていると捉えており、【資料4】に書かれていることと【資料1】に「コミュニケーションの食い違いを放置しておくわけにもいきません。」と書かれていることを結び付けていると捉えることができていないと考えられます。



【資料 4】

三 木村さんは、言葉の変化について田中さんと話し合いながら「資料1」を読み返しています。次の「話し合いの様子」をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

【話し合いの様子】

三 木村さんは、次の「話し合いの」

ばくが讀んだ二つの資料（「資料2」、「資料3」）には、言葉が変化していることが書かれていたよ。【資料1】に「言葉の正誤を軽々しく決めることはできない」と書かれていることにつながっているよ。

言葉の変化については、いろいろな考え方があるんだね。もう一度【資料1】を読み返して、言葉の変化について自分が一番なっとくしたことをまとめよう。


私はこの資料（資料4）を見つけたよ。
これを見ると、世代について、「雨模様」の意味と
とらえ方にちがいがあることが分かるでしょ。

本 当 だ。三十代から六十代は本来の意味とは
ちがう「小雨が降ったがりや」なりしている様子」と
とらえている人の割合が高いね。

こんなふうには、人によって言葉の意味のとらえ方
がちがうと、伝え合うときに困ると思うよ。だから、
【資料1】に「A」
書かれているとおりだと思うよ。

田中さん
木村さん
田中さん

いろいろな考え方があるんだね。
読み返して、言葉の変化について自分が一番なつとく



木村さん

言葉は、年月とともに変化していくものです。かつて規範的であると考えられていた言葉の形や意味が、現代においては通用しなくなっているたり、使い方が変わっていたりする場合は少なくありません。ですから、意味や使い方に揺れが生じている言葉について、「この使い方が正しい」と決めつけるのは短絡的ともいえるでしょう。①この本を読むのがお気づきになると思います。文化庁国語課では、言葉の意味について「正しい」「誤謬」といった判断をせず、代わりに、②「本来の意味」「本来とは違う使い方」といった言い方にとめています。言葉の正誤を軽々しく決めることはできないと考えます。

とはいえ、どんな言葉を使ってもいい、というわけではありません。③「コミュニケーションの食い違いを放置しておくわけにもいきません」。④「言葉は生きている」とも言われます。その広がりや深さにも、触れていただきたいと思います。

〔資料 1〕

[illegible]

【資料3】
「さて3」

今、あなたは「能がなくてどうもきこえない」といふ言い方を突然たてて思ふやうで、どうも、100年前は、大正時代、昔家の芥川龍之介は「とても安い」「とても茶」といふ言ひ、方は新しいと書いてゐる。それより前の時代には、「きこえない」の形で言つたといふのであります。つまり、大正時代より前は「聴覚がなくてどうもきこえない」と言つてゐたのです。けれども、そんな言ひは「とてもきこえない」と言つてゐたといふ言ひの終焉です。「とてもきこえない」といふ言ひは「とてもきこえない」といふ言ひを聞くこと、つまり、これからどうもきこえない」と言つてもいい」といふ言ひ、とてもきこえない」とは言ひなせんにしよう」と思つてもいい」といふ言ひ、でも、その必要はありません。」

とてもきこえない時代、大正時代には「とてもきこえない」といふ言ひは「とてもきこえない」といふ言ひでなく、花」といふ言ひで使つてゐたといふ言ひは「とてもきこえない」といふ言ひを昔の音楽家から使つてゐたと思つた。現代では解せずになつてしまふ。「言ひはうただから」と知ることは大事でなく、現代では「言ひはうただから」と理解するのとも大逆です。現代の人は、こゝを現代の意味で使つて、一番いいのです。

※本設問は場の設定が「話し合い」になっています。目的に応じて文章と図表などを結び付け、話すことができるよう、また、それに必要な情報を見付け出すことができるよう、学年ごとの単元のつながりを意識しながら、指導していきます。

<算数科について>

「都道府県Aのブロッコリーの出荷量が増えたかどうかを調べるために、適切なグラフを選び、出荷量の増減を判断し、そのわけを書く」という問題の正答率が低くなっていました。この問題は「目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる」目的で出題されています。

問題を解決するために、目的に応じて適切なグラフを選択してデータの特徴や傾向を捉えることができるようにすることが大切です。本設問では、目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかを聞かれています。ここでは、都道府県Aのブロッコリーの出荷量が増えたかどうかを調べるために、示された帯グラフと棒グラフから数量を表すグラフとして棒グラフを選択し、都道府県Aの出荷量に着目することが必要です。その際、都道府県Aのブロッコリーの出荷量が2023年は2013年より増えたと判断した理由を記述する上で、次の二つの事柄を書くことが必要です。一つ目はグラフ3に着目したこと、二つ目は2023年の都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、2013年より多いことです。

誤答の例として、「2023年は2013年より増えたと判断できており、グラフ3に着目したことも記述できているが、2023年の都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、2013年より多いことは記述できていない」「都道府県Aのブロッコリーの出荷量の割合に着目し、2023年は2013年より減ったと判断している」の2つが多く見られました。

- (2) あいりさんは、自分たちが住んでいる都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、増えたかどうかを調べています。調べていると、2013年と2023年について、右のグラフ2とグラフ3を見つけました。



グラフ2とグラフ3を見つけたけれど、どちらか一つのグラフを見れば、都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、増えたかどうかわかります。

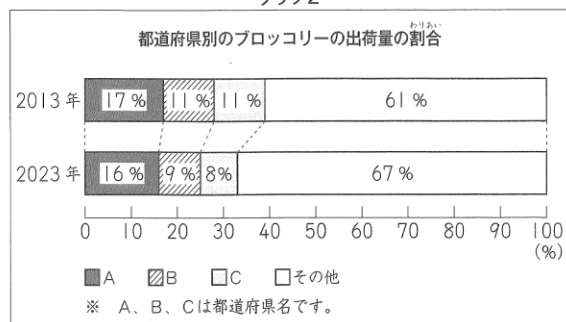
2023年の都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、2013年より増えたかどうかを、下のアとイから選んで、その記号を書きましょう。

また、その記号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。そのとき、どちらのグラフのどこに着目したのかわかるようにしましょう。

ア 2023年は2013年より増えた。

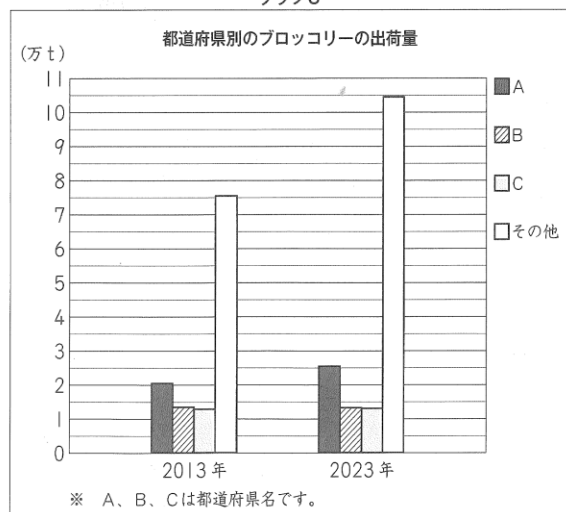
イ 2023年は2013年より減った。

グラフ2



(作物統計調査による。)

グラフ3



(作物統計調査による。)

※割合の数値と実際の数量は違うということを復習し、理解しなければなりません。△%引きは△円引きではありません。実際の数量が増えたか減ったかが分かるのは、割合のグラフではなく、数量を表しているグラフになります。問題解決をするために、複数のグラフが提示された場合、それぞれが何を表しているのか、特に題や単位に注目して、必要なグラフを選択できるよう、適応題や家庭学習等でこのような問題を解く経験を増やしたいと考えます。

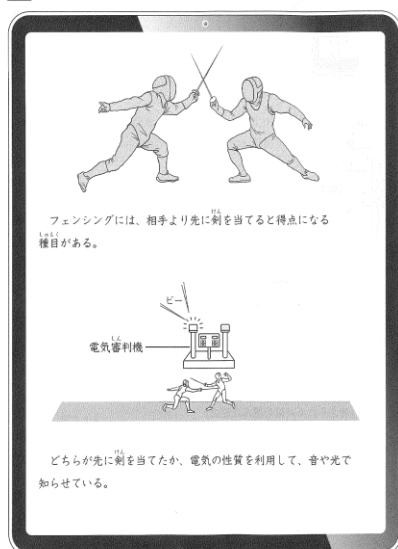
<理科について>

「アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか、磁石に引き付けられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶ」という問題の正答率が低くなっていました。この問題は「身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いているかどうかをみる」目的で出題されています。

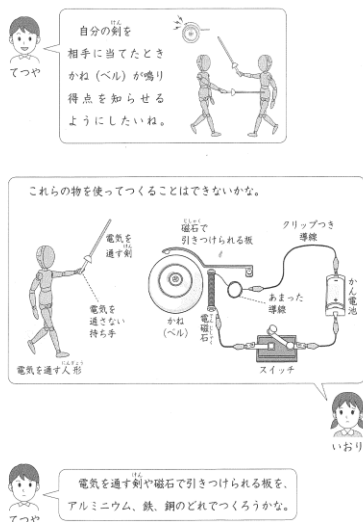
問題を解決するために、電気を通す剣や磁石で引き付けられる板としておもちゃに使う適切な金属を考え、アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか、磁石に引き付けられるかなど、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶことができるかどうかが必要です。ここでは、身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることを理解していることが大切です。

誤答の例として、アルミニウム、鉄、銅のいずれかが電気を通さないと捉えているものが多くありました。金属の共通する性質として、電気を通すという知識が身に付いていないと考えられます。

2 てつやさんといおりさんは、フェンシングについて調べています。



てつやさんといおりさんは、これまでに学習した電気の性質を利用して、フェンシングのおもちゃをつくることができないか、話しています。



(1) アルミニウム、鉄、銅の性質について、下の 1 から 4 までのの中からそれぞれ 1 つ選んで、その番号を書きましょう。同じ番号を選んでもかまいません。

- 1 電気を通し、磁石に引きつけられる。
- 2 電気を通し、磁石に引きつけられない。
- 3 電気を通さず、磁石に引きつけられる。
- 4 電気を通さず、磁石に引きつけられない。

※自然の事物・現象と知識を関係付けたり、知識を相互に関連付けたりして、理解を深めることの大切さについて意識して授業を改善することが大切だと考えています。

<児童質問紙より>

PC・タブレットの活用について、「情報を収集したり、整理したりすることができる」という質問については、「とてもそう思う」「そう思う」と答えた本校の児童の割合は、全国の6年生と同様の結果でした。しかし、「ICT機器を使って学校のプレゼンテーションを作ることができる」に関しては、全国の6年生と少し開きがありました。夏季休業中に2ndGIGAが導入されました。これまで以上に授業でタブレットを使用し、情報活用能力を育み、特に発表等のプレゼンテーションにも有効活用していきます。